

胆沢中学校

生徒数 392 人
所在地 奥州市胆沢南都田字蛸の手 6-1 ☎ 47-4715
URL <http://isawachu.sakura.ne.jp/>



胆沢中学校は、小山中学校、南都田中学校、若柳中学校が統合し、平成 29 年に誕生した新しい学校です。旧中学校が 70 年ほどで歴史を閉じたことを受け、胆沢中学校は「100 年続く学校」を目指してランドデザイン（全体構想）を策定しました。その夢の実現に向かって、生徒と保護者、教職員が一丸となり、日々の教育活動に取り組んでいます。

地域や行政など多方面からのご支援をいただくことで、生徒の活躍の場も着実に広がりを見せています。胆沢中の名は、自発的で勇猛果敢な学校として県内外に浸透してきていると感じています。

特に部活動での活躍は目覚ましく、本年度はバドミントン男子が団体と個人（ダブルス）、女子バレーボール、陸上で東北大会出場を果たしました。県中総体でも男子陸上が総合優勝という快挙を成し

県中総体で総合優勝を勝ち取った男子陸上



「胆沢プライド」を胸に

開校以来、「胆沢プライド」を生徒会活動の柱とし、生徒たちは胆沢中生としての誇りを意識して生活しています。「胆沢プライド」三大行事の運動会、文化祭、継承会は大変な盛り上がりを見せ、そのたびに生徒たちは「胆沢プライド」の大切さ



一致団結した運動会の応援合戦



文化祭で披露した焼石太鼓の演奏



「プライドトレーニング」の様子

遂げました。生徒たちは文武両道を目標に掲げ、部活動だけでなく日々の学習やボランティア活動、生徒会活動などに意欲的に取り組んでいます。

地域と共に歩む



地域の協力で行われる資源回収

胆沢中学校は、「地域に開かれた学校、地域とともに歩む学校」を目指し、日々活動しています。広大な学区ですが、地域の皆さんから以前と変わらないご支援をいただいています。そのご厚意に応えるため、生徒たちは地域の活動に積極的に参加したり、学校の様子を発信したりしています。各種大会の壮行式には、たくさんの保護者が参加し、激励の気持ちを生徒たちに送ります。各地域に主要行事をお知らせし、多くの方々に足を運んでいただいています。

笑顔あふれる胆沢中生

胆沢中の生徒たちは、全体的に素直で明るく、とても仲の良いところが魅力です。毎日明るい挨拶と笑顔があふれるとても素晴らしい学校、それが胆沢中学校です。ホームページも充実していますので、ぜひご覧ください。



胆沢中の素直で明るい生徒たち

真城地区は、水沢の南西部に位置し、自然豊かで、肥沃な土地と水利に恵まれた田園風景が広がっています。面積は 13・39 平方キロメートルで、人口は市の 4・6% に当たる約 5400 人、世帯数が約 2100 戸です。一世帯当たり 2・56 人で核家族化が進んでいます。また高齢化率は 35% を超えました。高齢者の一人暮らし世帯の割合は 9・9%、高齢者のみ世帯の割合は 14・7% となっています。

振興会内の 4 つの専門部会では、それぞれの計画に基づき事業を運営しています。▼自主自立の地域経営を念頭に、地域振興と課題の解決を目指す「経営企画部」▼全ての世代にわたり共有できるテーマを探り、学習・研修の機会を提供する「学習文化部」▼住民の福祉向上を観点に、市社会福祉協議会と連携した取り組みを推進する「健康・福祉部」▼住民が安心、快適に暮らすことができる環境づくりを進める「生活安全・環境部」第二次コミュニティ計画では、人口減少を踏まえて、地域の課題に対処するため「安全・安心」「健康」「福祉」「子ども」「学習」「環境」の 6 つの柱で事業を行うこととしています。

注目の話題

若い世代の参画で優秀館表彰を受賞



ちーむやなぎ（仮）のメンバー

平成 30 年 3 月 8 日、真城地区センターは、事業活動に工夫を凝らし、住民の学習活動に多大なる貢献をした公民館を表彰する、文部科学省の優良公民館表彰を受賞しました。これは、真城地区振興会や「ちーむやなぎ（仮）」などの活動が評価されたもので、全国に約 1 万 4 千館ある公民館の中から優良公民館 76 館に選ばれ、さらに優れた 5 館に与えられる優秀館表彰を受賞しました。真城地区振興会は、若い世代を地域活動にいかに参画させ、育

成していくかが、今後の地域の未来に係る重要な課題であると考え、若い世代による今までにない自由な発想で地域活動をしてもらうよう働きかけ、支援を行っています。地域の若い世代による団体「ちーむやなぎ（仮）」は、発足後、横断幕の作成や真城地区のシンボルマーク・旗の考案や、住民向けのピアガーデン、映画上映会など、住民の協力を得ながら積極的な活動を行っています。



▲多くの住民でにぎわう真城ピアガーデン

わんぱくでんでん(田・伝)教室

振興会と真城小学校が連携し、総合学習の授業の一環として稲作の学習を行っています。地元農家の協力を得て、田植えから始まり稲刈り、脱穀、収穫祭と一連の流れを学びます。ほとんどの作業が昔ながらの方法で、特に脱穀は「千歯こき」や「足踏み脱穀機」も使用し、子どもたちは昔の米作りの大変さを身をもって体験します。たくさんの手間をかけて作られるお米に、感謝の気持ちが深まります。



奥州きらめきマラソン応援隊

今年の奥州きらめきマラソンには、真城太鼓や真小マーチングバンドの演奏、横断幕を掲げての応援など、10 団体 150 人が参加しました。エイドステーションでは、一口そうめんを 2 千食提供し、選手に大好評でした。

